

# 池田町

山口 由貴

## 1. 概要

### 1.1 町章・カントリーサイン

町章は、外円は母なる川、利別川と十勝川および融和をあらわす三方形は交通の要衝と産業・経済・文化の将来への発展を象徴、中心に町名の「イケ」をもとに、町民の団結を円に、町勢の雄飛を翼にして表現させている。

カントリーサインは、観光名所でもあるワイン城とワインの原料となるブドウが描かれている。

図1 町章



出所：北海道池田町 HP

図2 カントリーサイン



出所：北の道ナビ HP

### 1.2 町名の由来

北海道では珍しく、アイヌ語由来の地名ではない。1896年に鳥取藩主の池田男爵によって本格的な開墾が始まったことに由来する説と、国鉄の駅名より町政施行の際に命名されたという説がある。

### 1.3 町花・町木

町花はツツジで、公園や一般の住宅の庭などで広く植えられている。

町木はサクラとカシワである。サクラは、清見ヶ丘公園に1931年に2,000本のエゾヤマザクラが植えられ、現在約600本となっており、毎年5月の初旬から中旬に開花している。カシワは、清見ヶ丘公園に樹齢300年を超えるといわれるカシワがあり、幹のあちこち大きなコブができており、見る人を驚かせている。夏には青々とした大きな葉が木陰をつり、秋にはドングリがリスたちの越冬食料となっている。

画像1 ツツジ



出所：北海道池田町 HP

画像2 サクラ



出所：北海道池田町 HP

画像3 カシワ



出所；北海道池田町 HP

## 1.4 町歌

町歌は、作詞が清原千晴、作曲が伊福部昭で、1968年6月3日に制定された。歌詞は以下のとおりである。

表1 池田町町歌

- |   |
|---|
| 1. ますめる空の ひかり映ゆ 十勝の平野 はてしなし したたる汗の 開拓の<br>あゆみうけ継ぎ 池田町 今日よりさらに たくましく |
| 2. 利別川の ゆくところ 柏のもりの 風きよし よりあう力 人和して<br>文化はぐくむ 池田町                   |
| 3. みなぎる若さ 北ぐにの 伸びゆく大路 幸をよぶ 仰げば北斗 生産の<br>ゆくて明るき 池田町 今日よりさらに あたらしく    |

出所：北海道池田町 HP

## 2. 歴史

### 2.1 村・町の形成

1879年に山梨県出身も武田菊兵が入植、1896年に開墾が始まり、「池田農場」と「高島農場」が設置される。池田農場の池田仲博は元鳥取藩主であり、後にできる池田駅、そして池田町はこの池田仲博からとられたとされている。1899年に洞寒外 13カ村戸長役場が設置され、1906年4月1日には洞寒村、蝶多村、十弗村、様舞村、誓牛村、信取村、蓋派村、居辺村が合併し、洞寒村となる。1913年4月1日、川合村に改称、また、同年に村内の大字を、洞寒村を川合村、蝶多村を千代田村、十弗村を東台村、誓牛村を近牛村、蓋派村を大森村に改称した。1925年4月1日、士幌町(現士幌町)の一部を分割、1926年7月1日に町制を施行、川合村から池田町となる。1933年6月1日、大字居辺村の一部(下居辺地区)を士幌村へ編入し、1939年には町内の大字を行政字とした上で、川合村を西1条・西2条、東1条・東2条、大通1・14丁目、大通南1丁目、川合、旭川、利別、清見、豊田、青山、千代田村を千代田、東台村を東台、富岡、昭栄、様舞村を様舞、近牛村を近牛、信取村を信取、美加登、大森村を大森、高島、居辺村を常盤に再編した。1947年12月31日、一部を幕別町へ編入する。2003年、豊頃町、浦幌町と合併するために任意協議会を設置したが、新市役所の位置を巡り協議が難航し、2004年に合併を断念、協議会を解散する。

### 2.2 鉄道

1904年(明治37年)12月15日、北海道官設鉄道(1905年に官設鉄道に編入)利別-浦幌間開業にともない「池田駅」が設置される。1910年、池田駅から網走線(後の網走本線・池北線)が開業し、駅舎を増築、跨線橋を設置する。1917年に池田電気(後に富士電気等の幾

つかの合併を経て北海道電力となる)が駅裏南側に火力発電所を開設、1918年に池田倉庫が創業し、駅北側に倉庫を設置、共に専用線を引込む。1919年には、富士パルプ(後の富士製紙)池田工場が開業し、専用線を運用するが、1930年(昭和5年)に富士製紙池田工場が廃止したため、専用線が廃止となる。1987年に国鉄分割民営化により、JR北海道に継承、1989年には池北線が北海道ちほく高原鉄道に転換(第三セクター化)され、ふるさと銀河線となるが、2006年に北海道ちほく高原鉄道ふるさと銀河線が廃止してしまう。

また、戦前には、池田町高島から士幌町下居辺まで殖民軌道が存在、十勝管内で唯一の殖民軌道であり、大変貴重な存在であった。1941年を境に、輸送量が激減し、戦後はほとんど使われなくなり、2008年時点では途中停車場や線路の遺構はほとんど失われている。

### 3. 地理と気候

#### 3.1 位置と地勢

東経143度27分・北緯42度56分、十勝平野の中央やや東寄りに位置し、総面積は371.91km<sup>2</sup>。地勢は平たんで、山岳地帯でも海拔100mから200mを超える程度。東25km、南北32kmにわたって広がり、北に士幌町及び本別町、東に浦幌町、南に豊頃町、西に音更町、南西に十勝川を隔てて幕別の計6つの町と接している。

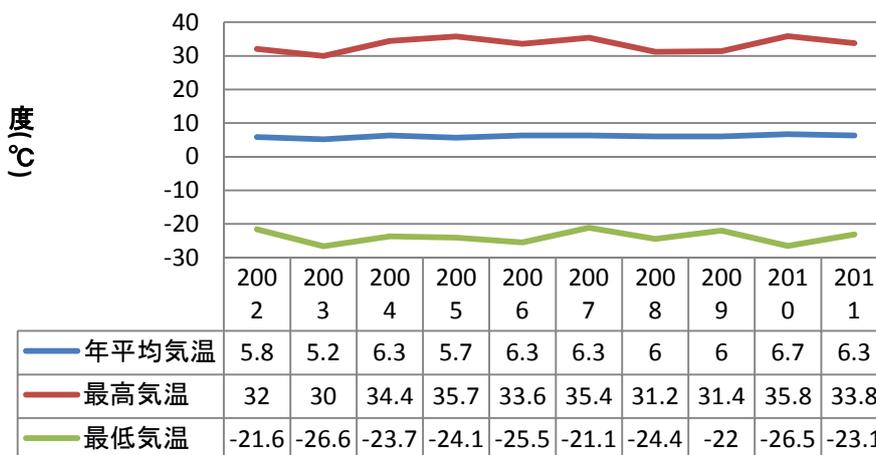
図3 十勝総合振興局での位置



出所：十勝総合振興局 HP  
(一部編集)

#### 3.2 気温

グラフ1 年平均気温・最高気温・最低気温



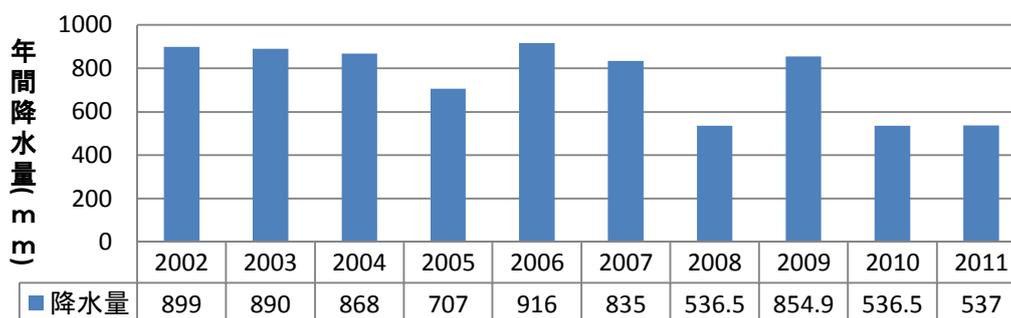
出所：池田町 HP より筆者作成

最近10年、最高気温は30度以上、最低気温は-20度以下を記録し続けており、年較差

が 50 度以上あることがわかる。2008 年までは、最高気温と最低気温は同じような変動をしていたが、2009 年以降は最高気温が上がれば、最低気温は下がるといったような、逆の動きするようになっている。また、年平均気温が 2006 年から 6 度以上を続けて記録しており、少なからず温暖化の影響を受けているようにみえる。

### 3.3 降水量

グラフ2 降水量

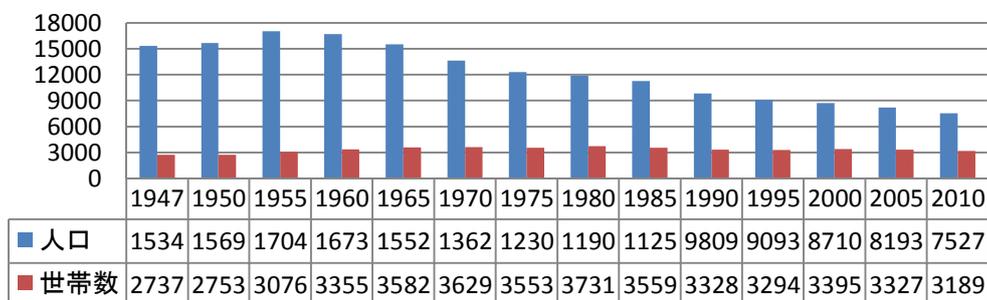


出所：池田町 HP より筆者作成

2002 年から 2007 年までは、年間降水量は 700～900mm を記録していた。しかし、最近 4 年のうち 3 度 500mm 台の降水量を記録しており、降水量の減少が顕著にみられる。これは、2008 年、2010 年、2011 年、共に冬季の降水量が大幅に減少していることが原因となっている。道東は日高山脈の影響で、冬季の降水量は少ない傾向にあるが、近年はこの傾向が強くなってきていることがわかる。

### 4. 人口・世帯数

グラフ3 人口・世帯数の推移



出所：北海道庁 HP より筆者作成

人口は、1955 年をピークに大きく減少しているが、世帯数は近年減少傾向にあるものの大きな変化はみられない。1950 年代から 1970 年代までの減少は、日本の高度経済成長に

伴い、農村の人々が都会に流出したため、1985年から1990年にかけての大きな減少は、国鉄が民営化し、職を失った人が職を求めて他の市町村へ出ていったためである。池田町は国鉄の根室線と池北線の分岐点となっていて、多くの国鉄職員がいる国鉄の町であったため、大幅な人口減という結果を生んでしまったのだ。

## 5. 産業

### 5.1 産業別人口

グラフ4 産業別人口(2010)

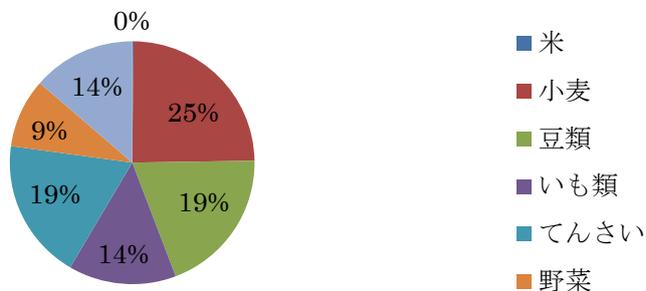


出所：総務省統計局 HP より筆者作成

産業別人口の実数は、第一次産業が 972 人、第二次産業が 678 人、第三次産業が 1940 人となっている。数字上は第三次産業が中心のように見える。しかし、第一次産業の全国の割合が 4.2%、北海道の割合が 7.7%であることを考えると、第一次産業が池田町の産業の中心とみることができるだろう

### 5.2 農業

グラフ5 農業生産額の割合(2010)



出所：池田町 HP より筆者作成

米の生産がほとんどなく、代わりに小麦の生産が多くなっている。これは、池田町の年間降水量が 1000 mmを下回っており、米の生産に適していないためである。他に、後述の家畜のための牧草や北海道が日本の生産の全てほこるてんさいなどを多く生産している。特にてんさいは、生産額で見ると小麦の次に多く、池田町にとって大事な農作物であることがわかる。

野菜は、ばれいしょとたまねぎの生産が多いくらいで、大きな特徴はみられない。

果物はほとんど生産しておらず、ワイン城で有名な「十勝ワイン」を生産しているにもかかわらず、原材料となるブドウの生産の生産も統計では省略されてしまっているほどである。

### 5.3 家畜

生産額では、乳用牛のほう肉用牛よりわずかに多いくらいで、ほぼ同じ生産額を記録している。しかし、戸数・頭数をみると、肉用牛のほうが、乳用牛より約 2 倍多い。

池田町の牛は「いけだ牛」という、一般に「あか牛」と呼ばれる褐毛和種のブランド牛である。霜降りはあるが脂肪分が少なく、和牛本来の風味と柔らかさ、赤見のおいしさを楽しむことができる。年間 250 頭ほどしか出荷されず、そのほとんどが北海道内の特定の販売先にしか出回らないため、希少なブランドとなっている。

表 2 普通作物・飼料作物の作付面積・収穫量

	作付面積(ha)	収穫量(t)
水稲	8	43
小麦	2,170	7060
大豆	66	228
小豆	758	2190
いんげん	598	1240
牧草	3500	124300
青刈りとうもろこし	308	16000
てんさい	1160	50500

※水稲、小麦、大豆は 2010 年、その他は 2006 年の値

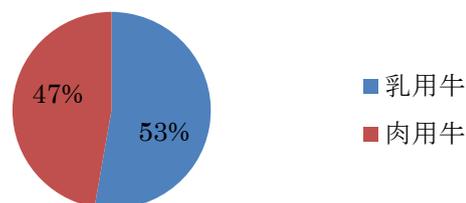
出所：わがマチ・わがムラ HP より筆者作成

表 3 野菜の作付面積・収穫量(2006)

	作付面積(ha)	収穫量(t)
ばれいしょ	323	9950
ほうれんそう	5	75
たまねぎ	27	1350

出所：わがマチ・わがムラ HP より筆者作成

グラフ6 畜産生産額の割合 (2010)



出所：北海道池田町 HP より筆者

表 4 畜産の飼養戸数・飼養頭数(2006)

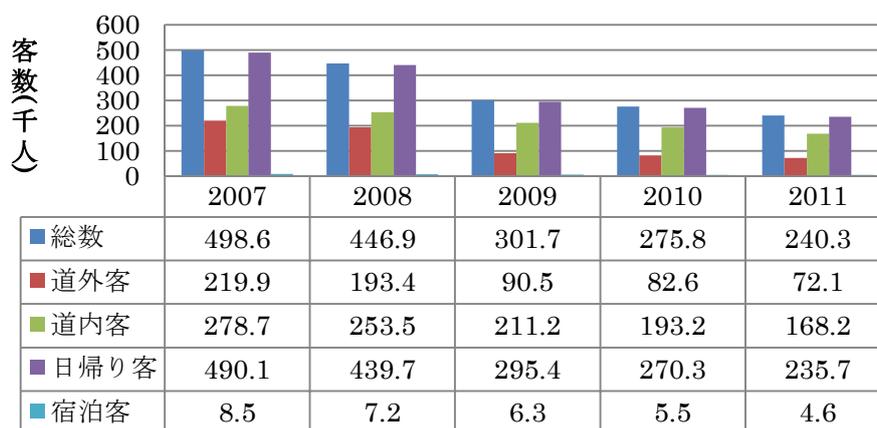
	飼養戸数	飼養頭数
乳用牛	44	2850
肉用牛	84	5180

出所：わがマチ・わがムラ HP より筆者作成

## 6. 観光

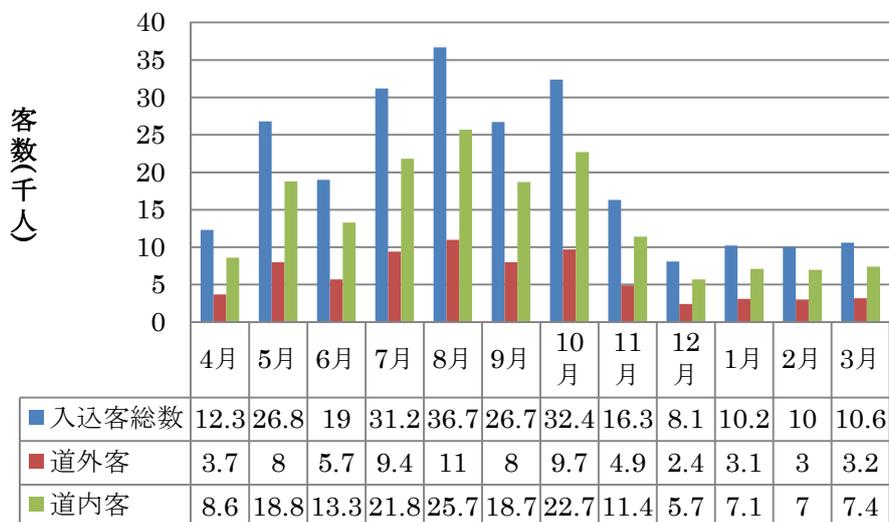
### 6.1 観光入込客数

グラフ7 観光入込客数



出所：十勝総合振興局 HP より筆者作成

グラフ8 観光入込客数(平成23年度)



出所：十勝総合振興局 HP より筆者作成

池田町の観光客数は年々減少しており、2011年にはピーク時の3分の1にまで減ってしまっている。特に道外客の減少が著しく、2009年の道内客の入込数は前年より100万人も減っている。道内客も同様に減っているが、2011年10月の夕張IC-占冠IC間の開通により、札幌圏の人々が道東に行きやすくなったため、2012年は観光客の増加が予想される。月別でみると、7、8月に多く、11月から4月の間は少ない。基本的に気温の上下に比例し

ているが、ゴールデンウィークのある5月と「池田町秋のワイン祭り」のある10月は例外的に観光客が増加するようである。

## 6.2 観光施設

### 6.2.1 ワイン城

1974年に完成。正式名は池田町ブドウ・ブドウ酒研究所。ヨーロッパ中世の古城に似ていることから自然と「ワイン城」と名づけられ、親しまれるようになった。ここで作られたワインは「十勝ワイン」と呼ばれており、高い評価を受けている。毎年10月第1日曜日には「池田町秋のワイン祭り」が開催され、十勝ワインや池田町産の牛肉を楽しむことができる。

### 6.2.2 まきばの家

1975年に開業、2007年に再オープン。レストランやオープンカフェ、コテージにキャンプ場、展望台などがある。見渡す限りの大地と、遠くにそびえる山脈、豊かな自然など北海道十勝ならではの雄大で牧歌的な空気を味わうことができる。

### 6.2.3 DCT garden IKEDA

2005年に開館。池田町はDREAM COME TRUEの吉田美和さんのふるさとであり、池田町と吉田美和さんの双方の希望により実現した。ここには、吉田美和さんにまつわるたくさんのアナログな資料が保管・展示されている。

### 6.2.4 ワイングラス噴水

JR池田駅前広場に1975年に設置。ワイングラスをかたどった噴水で、夜になるとライトアップされる。2003年の十勝沖地震により損壊したが、2006年にJR北海道が修復、寄贈したため、現在2代目のワイングラス噴水が設置されている。

画像4 ワイン城



出所：北海道池田町 HP

画像5 まきばの家



出所：北海道十勝観光連盟 HP

画像6 DCT garden  
IKEDA



出所：北海道十勝観光連盟 HP

画像7 ワイングラス噴水



出所：北海道十勝観光連盟 HP

### 6.2.5 清見ヶ丘公園

面積 14 ヘクタールをほこり、公園内にはパークゴルフ場が整備され、町民の憩いの場所となっている。樹齢 300 年を超えるカシワの大樹が生い茂り、春になると約 600 本のエゾヤマザクラが花のトンネルをつくるため、多くの花見客が訪れる。

<参照ホームページ>

北海道庁 HP :

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tuk/index.htm>

わがマチ・わがムラ HP : <http://www.machimura.maff.go.jp/machi/>

北海道池田町 HP : <http://www.town.ikeda.hokkaido.jp/>

北海道十勝観光連盟 : <http://www.tokachibare.jp/index.html>

池田町史 : [http://www.tokachi.pref.hokkaido.jp/d-archive/sityousonsi/ikedai\\_gaiyou.html](http://www.tokachi.pref.hokkaido.jp/d-archive/sityousonsi/ikedai_gaiyou.html)

都道府県市区町村 HP : <http://uub.jp/>

WikipediaHP : <http://ja.wikipedia.org/wiki/>

十勝総合振興局 HP : <http://www.tokachi.pref.hokkaido.lg.jp/>

北の道ナビ HP : <http://northern-road.jp/discover/sign/aiueo.html>

DCT garden IKEDA HP : <http://www.dctgarden.com/IKEDA/index.html>

北海道牛肉市場 HP :

<http://www.hokkaidogyunikuichibaarisawa.jp/SHOP/467504/list.html>

JA一十勝池田町 HP : <http://www.ja-tokachiikedacho.or.jp/agri/ikedagyuu.html>

総務省統計局 HP : <http://www.stat.go.jp/>

画像 8 清見ヶ丘公園



出所：北海道十勝観光連盟 HP